

## JCF MTB XCO ジャパンシリーズびわ湖高島 STAGE レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 恩田祐一

開催日 5月4日(日)

天候 曇晴

周回数 スタートループ1周+5周(4.2km)

結果 8位(出走89名)

今シーズンのJ1開幕戦が、滋賀県高島市朽木スキー場で行われた。

J2 緑山、菖蒲谷の2レースを経て、調整の遅れていたバイクの感覚をある程度取り戻してJ1を迎える事が出来た。

レース2日前に現地入り。その日はコースクローズだったので、会場でチームスタッフにバイクを整備してもらい、ホテル周辺で1時間程度軽く足をまわし、移動で固まった筋肉をほぐした。

レース前日は昼前に会場入り。その後スタッフと打ち合わせを行い、サスペンション、タイヤの空気圧を調整し、コースの試走を行った。

今回もバイクはBIG.NINETY-NINEを選択。前回、菖蒲谷では良いフィーリングだった事から、今回も同じで臨む事を決断。長い登りが続くこのコースでは、バイクの重量はレース後半に影響がでるかもしれないが、下りの技術がない自分にはWサスペンションのBIG.NINETY-NINEを用いて、下りでのリスクとタイムロスの軽減を図る作戦にした。

コースは昨年と違う部分もあったが、それほど大きな変化はなく、非常にタフなコース設定となっていた。昨年のこのレースは転倒の連続でリズムがつかれず、後味の悪い、苦手意識だけが残ったレースだったが、今年も背中から転倒し肋骨を痛め、下りの切り返しでは曲がりきれずオーバーランという具合に、非常に悪いイメージしか残す事が出来ない試走で、明日への不安だけが残った。

肋骨の痛みはかなりあったが、レースには出場するつもりで、気持ちだけは切らさないようにした。

レース当日は、朝食前に30分足をまわし、体を目覚めさせた。肋骨の痛みはあったが、

なんとかレースには出れそうだったので、出場を決断した。体のコンディションは悪くないが、足にやや疲労感を感じていた。

しっかりと朝食、昼食をとり、レース 2 時間前に会場入りした。

到着後すぐに監督と打ち合わせを行い、今回もタイヤを IRC MYTHOS で臨む事を確認。今回もタイヤに関しての不安は全くなかったが、試走での悪いイメージ、転倒での恐怖感を払拭出来ないままだった。

ケミカル類はもちろん HOLMENKOL。どんな状況でも選手の力を最大限に引き出してくれる、本当になくってはならない存在なので、こちらも不安は全く無かった。

給水や補給等の準備を終え、ローラーでのアップを入念に行い、筋肉、心肺にしっかりと刺激を入れた。ここでも足の疲労感は少し感じていた。

今回のスタート位置は 4 列目。J2 の 2 レースではペダルキャッチに失敗し、スタートで出遅れたので、今回こそは同じ失敗をしないようにと考え、スタートを待った。

14 時 15 分、スタートが切られ、スタートループ 1 周 + 5 周回で争われるレースがスタートした。今回はペダルキャッチを無難にこなし、スタートで出遅れる事はなかった。最初のシングルトラックまでは距離もあり、コース幅が広いままだったので、わりと楽に順位を上げて下りのセクションまでいけたが、前日から感じていた足の疲労感は、レースになっても抜ける事無く、やや足のまわりが悪く、重く感じた。

昨日の試走でどうしても攻略出来なかった下りの切り返しは、バイクから降りて走る事をレース前に決断していた。下りのスキルを上げる為には、バイクに乗って挑戦しなければならないが、どうしても結果が欲しかったので、リスクを最小限にする意味でバイクから降りる事にした。レース前まで自分自身と葛藤していたが、結果を出す為だと割り切る事にした。

レース序盤は 10 位台で進んだが、周回を増すごとに確実に順位を上げ、シングル目前まで迫ったが、そこからがなかなか上げる事が出来ずレースは続いた。一つのミスが大きな命取りとなるポジション。集中はしているが疲労で視野が狭くなって、小さなミスを繰り返すようになる。前との差は縮まる時もあるが、小さなミスでまた差が開き、それを繰り返しながらも、なんとかシングル順位まで上がってきた。ラストの 6 周回目に入った時点で順位は 8 位。前に 2 人選手が見えるが、足の疲労はほぼ限界にきていた。下りの切り返しを全ての周回で走って通過したので、その疲労もボディーブローのようにきいてきて、なかなか前への推進力がなくなってきていた。途中、後ろから来た選手

1人に抜かれ順位を9位に落としたが、ゴール前のスプリント勝負で1人を抜き、なんとか8位でゴールした。

レース前日の悪いイメージのまま臨んだ今回のレースだったが、リスク回避の為に、試走で攻略出来なかった下りの切り返してバイクを降りて走る事を決断し、それが結果には結びついたレースだったのかもしれない。しかし、逃げの安全策だったとも思うので、スッキリとした気分ではない。J1での自己最高位を更新したレースでもあったが、やはりスッキリとはしない。もっともっと進化のスピードを上げ、スキルアップのスピードも上げていかなければいけない。転向初年度だからとかいう逃げ道は自分の中にはない。早く自分自身が納得する結果を出せるよう、引き続きトレーニングに集中したい。

J1開幕戦という事で、選手はもちろん、チームスタッフも気合いが入っていたと思うが、しっかりとレースに臨める体制をつくってくれた。高谷社長も現場に足を運んで応援していただき、感謝の一言に尽きる。

そして、会場での応援の多さにビックリしたが、その応援が僕達選手の背中を押してくれるので、こちらも感謝の気持ちでいっぱいだ。

次戦は5月25日に愛媛県八幡浜市でのJ国際になるので、引き続きご声援よろしくお願ひします。



バイク：MERIDA / BIG.NINETY-NINE

タイヤ：IRC / MYTHOS

ケミカル：HOLMENKOL

ヘルメット：KOOFU / WG-1

グローブ：KABUTO / PRG-3

サングラス：CARRERA / C-TF02

時計：POLAR / RC3 GPS (心拍 MAX186 AVG176)

ネックレス：SEV

ドリンク：グリコ / パワープロダクション

サプリメント：グリコ / パワープロダクション